日本福祉大学

学生支援センター
TEL：0569-87-2432　FAX：0569-87-2376
E-mail:support-v@ml.n-fukushi.ac.jp
担当：生川（なるかわ）

日本福祉大学における聴覚障害学生支援の３つの特徴

一人ひとりに合った支援
- OHC を使ったノートテイク
- パソコンテイク
- 音声認識を利用したテイク
- ポイントテイク　・手話

聴覚障害学生（ちし生）・支援学生が多い
2018 年度前期実績
支援を受ける学生　20 名
支援を行なう学生　100 名
支援に入っているコマ数
118 コマ／1 週間あたり

信頼できる関係性
聴覚障害学生同士のつながり、聴覚障害学生とテイカー同士のつながりがある。テイクの依頼など声を掛け合って支援する。

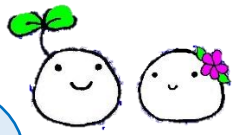
PC テイク

にっぷくでは

前期お疲れさま会

テイクがあるのがあたりまえ。そして、共に学び・共に育つ。

学生の声　ほんねアンケートより



ちし生
- テイク
  - 雑談もテイクしてほしい
  - テイカーの負担を考えると雑談は必要ない
  - 無理せずがんばってほしい
  - いつもテイクをしてくれてありがとう
  - 字を大きく、はっきりと書いてほしい

テイカー
- スキルアップ
  - PC テイクにも挑戦したい
  - きれいに早くテイクしたい
  - 手話を覚えたい
  - 多くの情報を書きたい
  - ポイントを絞ってわかりやすいテイクをしたい

共通
- 関わりかた
  - マッチング会やご飯会や交流会を増やしてほしい
  - ご飯会や遊び会がしたい
  - 支援をする、されるの関係で終わらせたくない
  - 仲良くなりたい
  - 講義以外でも会話がしたい

お互いに歩み寄り、対等な関係をつくる

本音を言い合える関係が大切

コミュニケーションが大切